

令和7年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：檜山地区
- 2 事例報告学校名：せたな町立久遠小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 工藤 崇
- 4 キーワード：地域教材を活用した特色ある教育活動

1 はじめに

せたな町は、平成17年9月1日に、大成町、北檜山町、瀬棚町の3町が合併し誕生した。本町は北海道の南西部、日本海に面した檜山振興局管内の北部に位置している。町の北は島牧村、東は今金町、南は八雲町に接し、西は日本海をはさんで奥尻島を望む。

地勢は北部と南部が山地となっており、その中間を一級河川後志利別川が流れ、北部には道南の最高峰狩場山(1,520m)など1,000m級の山々が連なり、南部には遊楽部岳(1,277m)や白水岳(1,136m)などが連なっている。

北部の狩場山から海岸にかけては狩場茂津多道立自然公園に指定され、南部の海岸線の一部は檜山道立自然公園に指定されるなど、豊かな自然環境を有している。

本校は町の南西部旧大成町の高台に位置しており、校歌の一節で「小高の丘の学び舎の」と歌われている。過疎化や少子高齢化が進み、児童数は現在14人で、極小規模校である。



親子熊岩（檜山道立自然公園）

2 特色ある教育活動

せたな町教育の目指す姿の基本理念は「ふるさとせたなを愛し 潤いと活力ある人間性豊かな人を育む」であり、基本姿勢として「環境を生かし 地域社会の連携による せたな町教育の推進」を掲げている。本校では重点実践事項の一つに「ふるさとを愛し、子どもが自身の未来像を描くことにつながる体験活動の推進」と設定し、豊かな自然環境を生かした教育活動を編成・実施している。また、子どもたちの自主的・自発的な読書活動の充実を図るため図書館と連携して、読書習慣・読書環境の改善を図っている。

(1) 自然環境を生かした学習活動

① 鮭の稚魚放流体験

檜山漁業士会のご協力により、稚魚の放流や餌やり体験などを通して、鮭への興味関心を高めるとともに、4年後川へ戻ってくるという鮭の生態についても理解を深めることができた。



② せたな町の漁業

檜山漁業士会のご協力により、せたな町付近でとれる魚について教えていただいた。サクラマスやホッケ、カレイなどの実物を持ってきていただき、実際に触れたり持ち上げたりした。働いている漁業士さんとの出会いを通して、せたな町の漁業の実態を理解することができた。

③ 漁業士の出前授業

檜山漁業士会のご協力により、イクラ作り体験を実施した。はじめに鮭の生態についての話やクイズを行い、6年生が1年生だった頃に学校近くの貝取淵川で鮭の稚魚を放流した際の写

真を交えながら詳しく指導していただいた。その後、筋子を焼き網やぬるま湯を使って一粒ずつバラバラにし味付けをしてイクラ作り体験を行った。

④ 森林教室

森林組合のご協力により、木や森がなければ雨水を蓄える働きができずに土砂崩れになったり、川や海に流れる栄養分が少なくなったりするなどの話を聞き、森林の役割や森林の大切さを学んだ。また、子どもたちは、木が成長するには長い時間がかかることや森が動物の暮らしを支えることなど、散策しながら学びを深めることができた。



⑤ 風力発電見学

JE Wind株式会社のご協力により、風力発電の仕組みや発電量など、持続可能なエネルギーについて理解を深めることができた。

⑥ 牧場・農場見学

町の農業・酪農と働く人をテーマに4か所の牧場と農場を見学した。子牛へのミルクやりや乳搾り、豚や羊への餌やりなど、多くの動植物とふれあうことができた。また、そこで働く人の生きがいや苦労を知ることができた。



(2) 大成図書館と連携した読書活動

子どもたちの読書週間の確立のために、学校に隣接するせたな町大成図書館と連携して読書活動を実施している。

① 図書館職員による読み聞かせ活動

毎月、本校図書室で図書館職員による読み聞かせを実施している。テーマは毎月図書館職員の方が工夫しており、子どもたちは、読み聞かせを通して、本の世界に浸ることができている。

② ブックフェスティバルの実施

例年、本校体育館で実施していたが、今年度は大成図書館で実施した。大成中学校文化総合部の生徒が小学生が楽しめるように選定した図書もあり、子どもたちは思い思いに本を手に取り、読書の時間を楽しむことができた。



③ 学級文庫の設置

より多くの本にふれあうことができるよう、各学級ごとに発達段階に合わせた本を設置している。月ごとに交換していただけるので、子どもたちは常に新しいラインナップの本に接することができる。

3 おわりに

久遠小学校がある大成区は、少子高齢化が急速に進んでおり、児童数の減少に歯止めがかからない状態である。しかし、地域や保護者は非常に協力的で、魅力あふれる教育環境が整っており、子どもたちは元気に学校生活を送っている。今後も「明日もまた通いとなる学校」を目指し、地域のみよきや環境を生かして、ふるさとを愛し、共に支え合う人材を育むよう、教育活動を充実させていきたい。